

## Tokyo スイソ推進チーム水素エネルギー見える化実行委員会の活動について（2019 年度、2020 年度）

### 1 Tokyo スイソ推進チーム水素エネルギー見える化実行委員会について

#### (1) 設立等

- 平成 31 年 4 月 26 日開催の設立会議を経て 36 団体で設立  
(メンバー名簿は別紙のとおり)

#### (2) 設立趣旨

- 国内外からの観光客に対して水素エネルギーの環境性能・先進性、福島復興等を PR するとともに、水素が安全なエネルギーとして既に普及している事例を多くの方が体感する機会を提供するため、2019 年度及び 2020 年度に「水素エネルギー利用の見える化」の取組を実施

#### (3) 組織等

##### ○総会

- ・参加団体数：36 団体
- ・開催日：平成 31 年 4 月 26 日

##### ○幹事会

- ・参加団体数：18 団体
- ・開催日：平成 31 年 4 月 26 日、令和元年 8 月 27 日

## 2 2019 年度事業の内容

### (1) 主要公共交通施設での水素で発電した電気を活用した PR

#### ○実施内容

- ・福島県産 CO<sub>2</sub>フリー水素と純水素型燃料電池を活用して、家族型ロボット「L O V O T」の稼働やスマートフォン充電サービスを実施
- ・身近な場面で水素がエネルギーとして活用されていることを楽しみながら学べるパネル等を展示
- ・併せて、水素関連機器の展示など、チームメンバーの取組についても PR

#### ○実施場所

- ・羽田空港国際線旅客ターミナル 4階  
広小路イベントスペース
- ・羽田空港国内線第1旅客ターミナル 2階  
イベントスペース

#### ○実施時期

- ・国際線：9月16日（月）、同月17日（火）  
各日 11:00～18:00
- ・国内線：9月19日（木）、同月20日（金）  
各日 11:00～18:00

#### ○実績

- ・参加人数（4日間合計）は約 2,000 人
- ・実施したアンケートでは、「水素が身近に感じることは日常的にあまりなく、エネルギーとして使えることを初めて知った」「色々なところで水素エネルギーが使えるということを初めて知った」「水素エネルギーは使用時に CO<sub>2</sub> を排出せず温暖化を防ぐことができるのがすごいと思った」「一般の人にも水素エネルギーを PR するいいイベントだと思った」等の意見があった。



(イベント当日の様子)

## (2) 既存の機会を活用したライトアップ、プロジェクションマッピング

### ○実施内容

- ・ 都民が多く集まるライトアップイベント「創エネ・あかりパーク 2019」へ参加
- ・ 水素エネルギーをテーマとした国立科学博物館の特別プロジェクションへ電力供給を実施
- ・ 特別プロジェクションへは、燃料電池自動車や福島県産 CO<sub>2</sub>フリー水素等を活用して給電
- ・ 会場内に出展する展示テントでは、燃料電池自動車のカットモデルの展示や、水素エネルギーを楽しみながら学べるインタラクティブゲーム・実験教室等を実施。福島県内の水素エネルギーに関する取組やメンバーの取組についても PR

### ○実施場所

「創エネ・あかりパーク 2019」（上野恩賜公園）

### ○実施時期

10月31日（木）～11月4日（月）

13:00～20:00（11月4日のみ18:00で終了）



### ○実績

- ・ 展示テント参加人数（5日間合計）は、約10,000人
- ・ 参加者からは、「水素が環境に良いエネルギーとして大いに役立つことを知った」「水素エネルギーについて楽しく学ぶことができ、知識を身につけられた」「燃料電池自動車についてたくさんのお話を伺うことができた」等の意見があった。
- ・ また、国立科学博物館の特別プロジェクションへの電力供給により、多くの方に水素エネルギーの環境性や先進性を PR することができた。



（イベント当日の様子）

### (3) 水素エネルギーイベント

#### ○実施内容

- ・水素エネルギーを五感で体感できるイベントを実施
- ・水素で発電した電気を使ったプロジェクションマッピングにより目で見て実感していただくほか、ミニコンサートで用いる楽器機材の電源とし、聴覚に訴えるコンテンツなどを行う。
- ・会場内に展示スペースを設け、メンバーの取組についてPR



(イメージ) プロジェクション  
マッピング

#### ○実施場所

お台場など、都民や国内外からの観光客が多く集まる場所を予定

#### ○実施時期

12月下旬を予定

### (4) 2019年度予算

○合計 120,550 千円

(内訳：東京都負担金 120,000 千円、協賛金 550 千円)

### 3 2020 年度事業の内容

#### (1) 実施内容（案）

- 2020 年度の水素エネルギー利用の見える化として、各メンバーの水素 PR に加えて、都民及び国内外からの観光客に対して発信するため、以下の取組をチームとして実施
    - ・観光地等におけるライトアップ・プロジェクションマッピング
    - ・商業施設等での水素エネルギー展示等
    - ・主要公共交通施設での水素エネルギーの PR
    - ・その他、五感に訴える事業を、2019 年度の取組実績を踏まえ、必要に応じて追加
- ※ 東京都 2020 年度予算は現在策定中のため、本資料の事業内容案に係る東京都予算も確定したのではない。



(イメージ) ライトアップ等



(イメージ) 主要公共交通施設での水素エネルギーの PR

### 4 今後のスケジュール

- 2020 年 2 月 第 2 回総会（2020 年度見える化イベントの実施計画等）
- 7 月～ イベント開始

### 5 その他

- 本取組においては、東京 2020 大会と関連付けては実施しない予定

※別途認められた場合を除き、直接的であるか、又は間接的であるかを問わず、商品もしくはサービスと、東京 2020 大会を関連付けてはならず、そのように受け取られるおそれのある行為は禁止されている。

以上